資料１－２

令和８年 10 月 16 日

愛知県環境影響評価審査会
　会長　中　山　惠　子　様

愛知県環境影響評価審査会
尾張東部・尾三ごみ処理施設部会
部会長　　義　家　　亮

尾三衛生組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について
（報告）

令和８年７月 31 日に審査を付託されたこのことについては、別添のとおりです。

別　添

# 尾三衛生組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書についての部会報告

## はじめに

尾三衛生組合ごみ処理施設整備事業に係る環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から慎重に検討を行った。

事業者は、以下の事項について十分に検討した上で、適切に調査、予測及び評価を行い、その結果を踏まえた環境保全措置を検討し、環境影響評価準備書（以下「準備書」という。）を作成する必要がある。

また、環境保全措置の検討に当たっては、環境影響の回避又は低減を優先すること。

## １　全般的事項

（１）事業計画及び工事計画の具体化に当たっては、環境の保全に関する最新の知見を考慮し、最善の利用可能技術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検討すること。

（２）新たなごみ処理施設の処理方式については、今後検討して決定するとしているが、決定に係る比較検討の経緯及び内容を分かりやすく示すこと。

なお、準備書作成までに処理方式が決定していない場合には、処理方式ごとに排出ガス等の諸元を適切に設定の上、予測及び評価を行うこと。

（３）調査手法、予測手法及び評価手法並びにその設定理由について、具体的かつ分かりやすく示すこと。

（４）環境影響評価の実施中に環境への影響に関し新たな事実が生じた場合等においては、必要に応じて、環境影響評価の項目及び手法を見直し、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

## ２　大気質、騒音、振動

対象事業実施区域の近隣に住居が存在することから、大気質、騒音及び振動による生活環境への影響が懸念される。

このため、ばい煙の排出による大気質への影響並びに建設機械の稼働等及び資材等運搬車両・廃棄物運搬車両等の走行による大気質、騒音及び振動への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

また、車両の運行計画の策定に当たっては、効率的な運行による車両台数の抑制や平準化・分散化、低公害型の車両の積極的な使用などにより生活環境に配慮すること。

## ３　水質

工事の実施に伴う水質への影響について、定量的手法により予測を行うこと。

## ４　動物、植物、生態系

（１）動物又は植物の現地調査について、調査区域内の環境に応じて適切に実施すること。

（２）対象事業実施区域及びその周辺において、夜行性の鳥類が生息している可能性があることから、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

（３）対象事業実施区域及びその周辺において、オオタカが営巣している可能性があることから、専門家等の指導・助言を得ながら、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

また、オオタカの繁殖に影響を与える可能性が高い時期に現地調査を行う場合には、できる限り影響が小さい手法により調査を行うこと。

## ５　景観

計画施設及び煙突の存在による景観への影響について、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

なお、建屋等の形状、色彩等の検討に当たっては、周辺景観と調和したものとなるように努めること。

## ６　その他

準備書の作成に当たっては、住民等の意見を十分に検討するとともに、分かりやすい図書となるよう努めること。

# 検　討　の　経　緯

| 年 月 日 | 会　　議 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 令和８年７月31日 | 審 査 会 | 知事からの諮問<br>方法書の内容の検討<br>部会への付託 |
| 令和８年10月２日 | 部　　会 | 方法書の内容の検討<br>住民意見の概要の検討<br>関係市町長意見の検討<br>部会報告の検討 |

# 愛知県環境影響評価審査会 尾張東部・尾三ごみ処理施設部会構成員

| | | |
|---|---|---|
| | 阿部　順子 | 椙山女学園大学生活科学部准教授 |
| | 岡村　聖 | 名古屋産業大学現代ビジネス学部教授 |
| | 神谷　浩二 | 岐阜大学工学部教授 |
| | 北村　亘 | 東京都市大学環境学部教授 |
| ○ | 佐野　泰之 | 愛知工業大学工学部教授 |
| | 須山　知香 | 岐阜大学教育学部教授 |
| | 内藤　久雄 | 金城学院大学生活環境学部教授 |
| | 丸山　康司 | 名古屋大学大学院環境学研究科教授 |
| ◎ | 義家　亮 | 岐阜大学工学部教授 |

◎部会長　○部会長代理　　（敬称略、五十音順）